5月24日 火曜日 23日発行
昭和30年 西暦1955年

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
第3105号
(昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日鉄道特別扱承認新聞紙第232号)

4版

今晩 天気予報 明日

二つの首脳会談開く

民自四者と両社六者

保守結集問題を中心に予算案の取扱い、目下交渉などの外交問題と当面の政局について話合う民主、自由両党の幹事長、総務会長四者会談と、この民自両党の動きに対処する両社会党の幹事長、書記長、国会対策委員長六者会談は日を同じくして廿三日午前それぞれ開かれた、かくて政局はこの二つの首脳会談をきっかけに活発に動き出した

不信任案協議

河野農相と牧野委員長

両派社会党

左右両社は廿三日午前十一時廿分から衆院常任委員長室で六者会談をひらき、左社鈴木委員長、和田書記長、八百板国会対策委員長、右社河上委員長、浅沼書記長、河野国会対策委員長が出席して減収加算問題およびこれにからむ牧野予算委員長の不信任案、河野農相の不信任案問題などを中心に当面の国会対策について協議した

両社六者会談（右から）八百板国会対策委員長、和田書記長、鈴木委員長（左社）河上委員長、浅沼書記長、河野国会対策委員長（右社）＝院内常任委員長室で

閣外協力を懇請

民主 予算案の成立で

民・自両党

民主党三木総務会長、岸幹事長、自由党大野総務会長、石井幹事長の民自四者会談は廿三日午前十一時半から永田町のグランド・ホテルで開かれた。この会談では民主党側から「卅年度予算案の成立」について自由党の理解と協力を求めたが、とくに予算案の取扱いについては自由党の閣外協力を要請した話合いにとどめるとの消極的な態度を示し、保守結集を道具建てに乗切り工作に利用されることを警戒し、政策問題を話合う前に鳩山首相の政界引退の時期とその後における後継者問題などについて三木総務会長、岸幹事長から公式的な確約を求めたもようである

民自四者会談 左から石井自由党幹事長、大野自由党総務会長、三木民主党総務会長、岸民主党幹事長の四氏（永田町グランド・ホテルで）

加瀬国連大使 認証式行わる

国連大使加瀬俊一氏の認証式は廿三日午前皇居で行われ、同日内閣から正式発令された

ユーゴ常備兵力の削減開始

【ベオグラード廿二日発UP＝共同】ユーゴのチトー大統領は廿一日ポストイナ市で行った演説の中でユーゴの常備兵力の削減を示唆してつぎのように述べた、ユーゴはすでに広汎な帰郷制度を実施しており、恒久的な平和の見とおしがつけば一そう広範な計画を行う準備を進めている

午前の開会不能

予算委員会 野党の態度強硬

廿九年度減収加算、米の減収加算問題で「関係予算審議の中止」を決議した予算委員会は、廿三日も理事会で政府に対し不信任案を出すなど野党三派の態度が強硬なため午前の開会は不能となり、さらに田中伊三次自由党国会対策委員長らと左右両社との間で話合いが行われたが、左右両社は牧野予算委員長の不信任案を提出する方針を変えていない

かれた民自四者会談の話合いによ り事態を収拾しようと図っている

予算成立後に措置

減収加算で 根本長官談

根本官房長官は廿三日午前の記者会見で「廿九年度米の減収加算について」次のように語った

一、減収加算は法的に義務づけられたものではなく、行政措置として考えるべきものであり、予算の用面で善処することを明言している

一、従って政府が予算成立後、適当な時期に措置する方針を変えず、この立後措置する方針を変えず、この線で各党と話合いたい

一、また予算修正権は予算委にあるのだからドシドシ修正してもらってよい

野党、地方財政計画を追及

九十一億四千四百万円で、その内訳は旅費、物件費などの節約八十四億円、寄付金分担金の抑制廿五億円、行政機構簡素化による経費減六億円、単独事業費の節約（交付団体だけ）七十六億円となっている

また計画外歳出への振替えは交付団体の赤字百四十億円を消すためている

の一つの措置であり（一）教員の増加に伴う給与費増加分のうち卅一年度に精算払いされる分の義務教育国庫負担金の一時立替え分九億八千万円（二）失業対策事業費の超過負担分（資材費の単価が低いため差額を地方が負担）約廿二億二千万円となっている

七百六十一億四千六百万円ときまった、しかし計画のツマを合わせるため大巾な経費と計画外歳出への振替えを合わせて二百廿億円余を見込んでいたあるいは当初の計画案のなかにらかにされていたはずの地方税の交付団体の赤字約百四十億円が「一夜のうちに消えさって」ことなどから衆参両院の地方行政委員会では早くも「ゴマカシ計画」「計画性なき計画」と政府追及の火の手をあげている

しかしこのうち経費節減分は実行しなければそれだけ赤字となるわけであり、計画外へ振替えた分は実際には支出されるもので結局二つとも赤字をかくすための操作に過ぎないとして野党各派はこの点に攻撃目標をおいている

九月ごろ開会？

巨頭会談 西欧筋の観測

【ワシントン廿二日発ロイター＝共同】ワシントンの米当局者は廿二日のプラウダの論説から見て巨頭会談の場所や技術的問題についてソ連との合意に達するには時間がかかり、予定の七月末開催はむずかしく九月までは開けないのではないかと見ている

西国外相はウィーンでの会談で場所について意見一致を見なかったが、外交経路を通じての早急解決を期待されていた、プラウダは廿二日の紙上で西欧側が巨頭会談の場所をウィーンにすることを拒否したことを非難しているが、このことはソ連が来るべきサンフランシスコの国連特別総会でソ連外相と西欧側代表が会談する際巨頭会談の場所、期間、議題を会談の主要議題としようと意図していることを示唆するものと見られている

かなしき文化財

世相風詩

トントコトントン　トントコトン
スモウのタイコが　人を呼ぶ
ノボリは　五月の風に　ひるがえり
お茶屋は　サジキを　占領し
自由に入れるのは　天井裏だけ

チョンマゲ姿の　力士たち
チョンマゲなんかは　過去のもの
今では　かなしい文化財
かなしい文化財を　アタマにのせ
力士たちは　得意である

実力本位と　いうものの
親方さまには　かなわない
親方さまは　チョンマゲ切ってるが
アタマの中味に　チョンマゲ結ってる
トントコトントン　トントコトン

（近藤　東）

一粋人酔筆

和洋折衷

田辺禎一

わが国の風俗習慣は、江戸時代の末には全く日本的に完成されていたが、明治以後に西洋の風習が輸入され、それを国民が好んで真似て、それに同化しようとつとめた結果、和洋折衷という風習が現われて来た。それがうまく融合してしまえば、新しい風俗が産れ出るのであるが、融合するまでにはかなり混乱状態が続き、二重生活に苦しむというような現象も現われている。

明治廿年にできた「大阪紳士」という書を見ると、ある時大阪市に大そう偉い人が来て第一流の大阪紳士を、その頃できたばかりの洋風ホテルに招待して、洋風の宴会を開いた。その時集まった第一流の大阪紳士は、洋食の作法を知らず、万事日本式の作法でやった。旧来の日本料理の宴席では、お吸ものだけを吸い、魚類には手をつけずに、帰りにそれを折詰めにして持って帰るのが作法である。そこで先ずスープが出た。これはお吸ものだとばかり、皿を両手で持って口へ当てて吸った。日本式では吸ものはチュウと音を立てて吸うのが作法である。そこで一同はスープを殊更に大きな音を立ててチュウチュウと吸った。その音は満堂に響きわたったという。

それから肉が出た。これは食べてはならぬと思い、それを入れる折箱がないので、皆一同その皿のまま、風呂敷のつもりで胸当ての白布に包み、中にはナイフやフォークまで、おみやげのつもりで、その布に包んで、最後のコーヒーだけ飲んで、持ち帰ったということが記されている。

これは今から七十年も前の話だが、昭和になっても、和洋混乱の状態がしばしば見られた。

玄関は昔風の粋な作りで、式台前の敷石の上に草履をぬいで上ると、粋な年増の仲居さんが、丸髷姿で丁寧にお辞儀をして「どうぞこちらへ」とかたわらの粋な模様の唐紙障子を開けた。お座敷へ通るのかと思って、その障子の中に入ると、それは押入れである。いきなり客を押入れに入れるとは変だと思ったが、とにかくいわれるままに狭い押入れに入った。そうするとその美しい仲居さんもその中に一緒に入って来た。

これは嬉しいと思ったが、変な気持ちで固くなっていると、その仲居さんは押入れの中のボタンを手で押すと、押入れはそのまま動いて、三階の広い座敷へ昇ってしまった。押入れと思ったのはエレベーターであって、丸髷姿の仲居さんがエレベーター・ガール？であったのである。さすがに粋な花柳界の気持ちを害せずに、文明の機械を利用したのは感心した次第である。

これに反して和洋折衷の模範的な例として大いに感心したことがある。これも今から廿年位前のことである。大阪の道頓堀南側の花街地宗右衛門町の或る料亭で、一夕宴会があった。

それから大阪から別府への航路に紫丸という優秀汽船があった。その一等船室に一人で乗ったことがある。この船は新婚旅行用だといわれただけあって、一等船室は純然たる待合式で、次の間付きの八畳の日本風のお座敷で、丸窓などがついており、枕屏風に緋じりめんの夜具ふとんで、枕もとにはあんどんがついている。どう見ても文明の汽船に乗っているとは思えず、粋な待合で泊まっている心持ちである。こんな室に独りで寝ていたのは残念であったが、しかしとにかく和洋折衷はかくありたいとその時思った。

今から廿年ほど前に、コロムビアレコード会社の若い社員が、春の懇親会を柴又の料理屋でやった。その時柴又の芸者が、雨上りで道が悪いので、芸者の晴れ着姿で、つまをとりながらゴムの長靴をはいてやって来たので社員一同興がさめて、酌をしてもらっても酒がうまくなかったとこぼしていた。投げ島田に結って、つまをとってゴムの長靴をはいた姿は、想像するだに面白い。

アジア開発基金に議会の監視が必要

ジョージ米外交委員長言明

【ワシントン廿二日発AP＝共同】米上院のジョージ外交委員長（民主党）は廿二日記者会見を行い「上院外交委員会はアジア開発特別資金二億ドルの使途についてアイゼンハワー大統領に"白紙委任状"を与えることはないだろう」と次のように述べた

上院外交委員会は目下審議中の一九五六会計年度の対外援助費約卅五億ドルを実質上たいして削減することなく今週中に可決するだろう、しかしアジアの友好諸国の経済発展を支援するために設けられた特別基金二億ドルについては委員会が一般的な制限をつける可能性がある

中立化を拒否

西独首相、三国に警告か

【ボン廿二日発UP＝共同】アデナウアー西独首相は米国が四巨頭会談でドイツ中立化を支持するかもしれないとの報道に驚き米英仏三国駐在大使を召喚するとともに三日前からビューラ・ヘーエの休暇先で外交、軍事最高顧問たちと協議を続けている、この会談はドイツ中立化提案を阻止するための戦術を練るとともに、再軍備を促進するために開かれたものであるが、ア首相は米英仏三国駐在大使を通じ三国にたいしソ連のドイツ中立化提案に乗ぜられないよう警告を発するはずである

首は廿二日、ドイツ中立化問題などについて次のような立場を明らかにした

一、ドイツを孤立化ないし中立化しようとするならば平和は不可能だろう、ドイツが西欧諸国と協力することを許されないならば、欧州における不安のタネとなろう

一、西独の北大西洋条約加入はブロック政治をもたらすものであり、社民党としてはこれに反対せざるをえない

一、東西両軍事同盟を破棄し国連管理下の集団安全保障体制に統一ドイツを参加させることを要求する

一方西独政府は廿二日オーストリア方式でドイツを中立化しようとする動きをハッキリと拒否し、将来樹立されるいかなる全独政府も完全に自由な立場で外交政策を決定できるものでなければならないとの立場を明らかにした

野党も同調

【ミュールハイム（西独）廿二日発UP＝共同】西独のオレンハウアー社会民主党

西欧防衛体制の打ちこわし

米観測 ソ・ユ会談

【ワシントン廿二日発ロイター＝共同】米国務省は、きたるべきソ連・ユーゴ首脳会談で、ソ連がいかなる提案を持ち出すか明らかでないとして静観的な態度をとっているが、ソ連の提案がいかなる形をとるにせよ、この会談がこんごの情勢にきわめて大きな影響をもつとともに、西欧防衛体制の打ちこわしのためのソ連の積極的な動きを示すものとして重視している、欧州のまん中に中立地帯を設けようとするソ連の動きについてワシントンの官辺筋は、ソ連指導者が

一、バルカン軍事同盟の中におけるユーゴの役割を弱化するとともに、ユーゴと米英両国との結びつきを弱める

一、チトー大統領にソ連のパリ協定打ちこわし政策を支持するよう説得する

ための基礎工事を行っているのかもしれないと示唆している

財界春秋

近来の快事には前英首相チャーチル氏の引退があった。功なり名とげ、職を去った老首相に老いも若きも、敵も味方も世界の隅々まで、これほどまでに敬意をささげたことは稀である。

われわれには吉田前首相の引退が、問題になっていた直後だけに一そうその感が深かったのかも知れないが、イーデンというよき後継者があり、水のひくきに流れるような、極めて自然な引退ぶりが、好感に拍車をかけたことも争われぬ。

三鬼毒舌将軍がこの欄で"社長さま首すげ替時代"と、題して無遠慮に、コッピドイ評をやっているが、筆者も同感ではある。がはじめ、大幹部重役が揃って僅か二、三億の赤字責任と、労務対策の責を負って退職したのは放漫政策のため、何十億の大赤字を出したり、十数億のお帳面にない損失が明かるみに出て、やめた連中とちがって、どこにいても"立派なもんだね""惜しい人たちだ"の声だね"と、これも近来まれにみる惜しまれた退職者として評判？が

重役よストをヤレ

菅原通済

三菱鉱業の高木、小堀、新居をいい。が、筆者のここでいいたいのは、なにもそんなセンチなことでない。世間の評判はよくなくってもいいから、ガンバってほしかったことだ。

炭況の悪いのは、重役の罪でない。三期や五期欠損を出すくらいはあたりまえだ。が、如何なる節約も、如何なる不況対策も、労組の前には、ケシつぶほどの効果しかないということだ。

労務者諸君は、赤旗振って賃銀値上げするだけで、口先ではもっともらしいヘリクツを並べ何んともしがたかったのだ。三菱鉱業の生いたちはこうした炭況のように盛衰のはげしい仕事であればこそ、平均するよう三菱金属と同体の会社だったのをスキャップのあやまれる政策から二分されたのは誰もが知っていることだ。

日と時を同じうして、三菱金属では総会を開き、一割五分の配当をするという、諸君の努力は決して金属におとらなかったのだが、炭界不況の前には、如何んともしがたかったのだ。

このさい万難をはいしても、昔にかえり、企業合理化を図ることこそ急務ではあるまいか。

るが、なんら協力の実を示さない。社長以下が引責しても、労務者側の幹部は引責どころかお祝い酒だ。こんな馬鹿な世の中が、どこにあるだろうか？何故に重役のほうでストライキでもやって、彼等の度肝をぬかんのだ。

が事業なんかは、いくらでも得られるが、人はなかなか得られない。こんなときこそ、重役諸君にガン張ってもらいたかったのだ。重役諸君よ、君たちこそストライキをやり給え、会社の機能なんか一時止まっても、かまわないから、ほんとうの会社経営に乗り出して、このさい大掃除をしてもらいたいものだ。

市況 小甘商状

週明けは民自四者会談の成行を見まもって人気は引立たず市況は閑散のうちにも品薄株中心の小口売物に押されて全般に気迷い場面を呈している、特定株は動意に乏しいが逆日歩寸前の三越が確りに保合っているほかはマバラ売にほとんど一、三円安と低調、雑株は大証券の下値買がなくお続いているもの値はほとんど動かず、一方日銀が僅かな売物に四十円方低落したほか不動産、電力株など値嵩物の一部に換金売とみられる小口売物がぼつぼつ出て五円内外下押すなど概して小甘い商状であった

▽安い株＝日銀四十円、中国電十円、三井不七円、菱地所六円、西武、明治海四円
▽高い株＝関西電五円

東京株式仲値

□新株落△配当落
（23日前場終値）

銘柄	値
特定銘柄	
東海上	276
郵船	55
新三菱	90
日清紡	263
味の素	288
三越	278
平和不	196
三井金	110
三菱金	85
日鉱	79
住友金	96
三菱鉱	41
古河鉱	59
同和鉱	110
住友炭	56
三井山	55
北海炭	48
東邦亜	61
帝石	64
日石	95
昭和石	96
東燃	113
三菱石	106
大協石	118
日東化	70
日産化	75
三菱化	99
三井化	109
協和醗	109
東合成	110
三共薬	141
信越化	83
東高圧	117
昭電工	80
日本曹	77
旭電化	73
三菱造	74
三井造	105
三菱重	60
石川重	89
椿工	135
東洋ベ	112
日立造	45
浦賀	44
日平	24
古河電	67
日立製	69
東芝	65
三菱電	87
小松	60
日本光	137
キヤノ	143
東京光	—
東洋紡	134
鐘紡	112
富士紡	109
大日紡	79
日東紡	60
片倉	34
東邦レ	105
帝繊	65
中繊	55
帝人	122
東洋レ	170
三菱レ	122
倉レ	83
旭化成	318
山陽パ	99
日本パ	92
国策パ	98
東北パ	114
大東紡	95
商船	50
三井船	46
飯野海	42
西武	346
藤田興	220
東京ガ	65
東電	427
日銀	1700
東銀	82
三井銀	69
富士銀	89
日証金	87
安田火	109
大正海	86
住友海	78
千代田	74
鋼管	65
日製鋼	63
八幡鉄	51
富士鉄	49
神戸鋼	56
日特鋼	125
日軽金	172
日金工	55
日セメ	124
磐城セ	230
小野田	78
横浜ゴ	207
旭硝子	139
富士写	117
小西六	106
カボン	50
三井物	136
第一物	98
白木屋	—
高島屋	79
日活	82
松竹	197
東宝	1260
大映	172
日本粉	120
日清粉	149
日本ビ	148
朝日ビ	173
キリン	191
宝酒造	83
台糖	218
明糖	111
甜菜糖	115
野田醤	189
森永	276
明菓	164
日水産	76
昭和産	92
東洋醸	71
合同酒	104
三楽	82
大阪糖	150
王子紙	204
十條紙	213
本州紙	88
三菱紙	88
北越紙	51
三井不	770
三菱倉	496
三井倉	80
澁沢倉	85
東洋埠	180

内外抄

「不信任案」は大小とり揃え用意してありますゆえ、何時でもご用に応じます、とね。

◇

都議会ではあっさり保守合同が実現した。親のニセ狂言をそのまま行った子供たちは正直。

◇

「菊地逮捕」で拘置所の失態あかるみに出る。タガの弛んだ見本がまた一つ。

◇

お寺や病院を食物にする都庁汚職。さすがは「伏魔殿都庁」、お次は何が飛び出すやら。

◇

二つの首脳会談ひらく。保守派と革新派と、性格は違っても、ともに道の険しい点で一致は皮肉。

青春無宿 (14)

大林清 作
下高原健二 画

銀座の奇蹟（八）

安南人の用件はどうやら次郎が街路で愚連隊を叩き伏せたことに関連しているらしかった。

「立ち話ではくわしいことも申せませんから、ともかくこれにお乗り下さい。お供する先は帝国ホテルです」

ファ・ソロジェムがそう云うと他の二人もどうぞどうぞと、おしたてるようにして、次郎を車へみちびいた。

訳はわからなかったが、格別断わるほどの理由もなかった。押し問答をするのも面倒なので、次郎はせかれるままに乗りこんでしまった。

少し行ったところで表通りの方へまがると、プラカードをかついでのんびりあるいている東藤の姿が見えた。

「ちょっと徐行して下さい」

次郎は運転手に声をかけて、窓をあけた。

「おい東藤！」

東藤はふりむいたが、どこから声をかけられたのかわからずに、キョロキョロし、二度目の声でやっと次郎をみとめた。

「ちょっとたのみがあるんだ」

「何ですか」

東藤はとり残されそうになって窓へ追いすがった。

「今の青い星な、あそこから若いのと中年のと女が二人、もうすぐ出て来る筈だが、ちょっと見ててやってくれないか」

「見ていればいいんですか」

「何かあったらアパートへ報らせろ、俺卅分ぐらいで帰っている」

「オーケー」

東藤の方もそれ以上、聞いただしているひまがなかった。反対側から来た自動車にはさまれそうになりながら、あわてて歩道へ飛び移った。

「宇田さんは面白いお友達をお持ちですね」

ソロジェムが例の微笑をうかべて、話しかけた。

「銀座に住んでいると、いろんなのと知りあいになりましてね」

次郎が東藤を知ったのも、やはり喧嘩からだった。六小十幾つもある銀座界隈のサンドイッチマンの団体の中で、二つの団体が得意先の奪いあいから、対立した時、次郎は広告の仕事の関係で、仲裁をたのまれ、危うく血の雨の降るところを、食いとめたことがある。その一方の団体の参謀格だった東藤は、それ以来次郎になつくようになって、時には宣伝の仕事など、持ちこんで来ることもあった。そのほかシューシャンボーイ（靴磨き）花売り、ポン引など、次郎の友達は、銀座裏に巣食う下層の人間に多い。

車は四丁目から日比谷映画劇場の前をまわり、やがて帝国ホテルの正面玄関へすべりこんだ。

ソロジェムは先に立ってロビイへあゆみ入ると、

「少しこちらでお待ち下さい、只今すぐその方をおつれいたします」

と、一隅の椅子へみちびいた。

三人のうちの一人が、次郎の監視でもするように残った。際立って色が黒く、眼の鋭い男で、左手を絶えずポケットに突っこんでいる。肱から先が義手であることは、その部分の固い感じで察しられた。

「僕が会うのはいったい誰なんですか」

ものごとに無頓着な次郎も、そうきかずにはいられなくなった。

純潔娘はたった三人

招かれざる星の下に生れた彼女ら

九〇名が"強か者"返上へ

知能は13、体は30代の少女たち

榛名女子学園の生態

「九十人中処女はたった三人の女学校」といえば驚くだろうが これは女の少年院"榛名女子学園"=群馬県=の話だ。青少年保護育成月間も実施中で、激増する犯罪少年の防止、保護対策が話題となっているが、既に前途を踏み誤った少年少女達はどうしているだろうか、現在全国百七十一の刑務所には七万人四十の少年院には一万三千人の少年達が収容されて更生の道を歩いている、この中でも「男と違って女の子はデリケートで難しい」と補導官は一様に頭を悩ましているが、その少女達は全体の約四分の一もいる、殊に"榛名女子学園"は強か者ばかり収容しているというが…その中の少女達はどういう補導を受け、どんな生活をしているだろうか、以下はペンとカメラがのぞいた「男恋しさに脱走する少女もいる」という榛名女子学園の生態である

前橋駅からバスで約四十分、桃井村に至り、榛名山の秀峯を右に、利根川を隔てて赤城山を左に眺め、麦畑のだんだら坂を登りつめると、コンクリート塀に囲まれた広大な建物にぶっつかる。これが榛名学園だ、門をくぐると、講堂で歌う少女達の合唱がとぎれ〳〵に聞えてくる

へ…山は紫　やさし眼ざし…

歌は学園歌で、ちょうど朝礼の時間だった、敷地六千六百坪、一千百五十坪の木造建物のなかに"あかね寮""みどり寮"など四つの棟が廊下で連なっている、"あかね寮"は変質者、新入生などが入る独居室になっているが、他は各寮とも十二畳敷の部屋が五つほどあり、一部屋に七、八人の少女達が同居している、少女の年令は十六歳から廿歳まで、十九、廿歳が半数を占めており、十六歳は二人

少女達について久保園長が「彼女達に欠乏しているのは愛情です」という通り、ほとんど貧困家庭でしかも平均六人という子沢山の家に生れている、いわゆる招かれざる子だ

覚醒剤法違反で送られてきたA子(一九)の父親は大酒飲みで家をかえりみず、両親は別居した、A子は母親と妹二人を養うために十七歳のとき芸者になった、ところが稼ぐ金は母にとられてしまうので、仕事にも熱が入らず、ヤケになってヒロポンを打ち始めたのが転落の動機、遂に街娼にまで落ちていった

またB子(一九)は母とその義父との間に生れた、そのため祖母にいじめられ、七歳のとき家出した、浅草の山谷でスリの仲間に入り、年ごろになってからは京浜地区を転々として身を売るようになり、捕ったときは横須賀で外人相手の街娼になっていたという

どれもこれも複雑な家庭故に堕落した少女たちなのだ、これを行為別(犯罪)に見ると窃盗が一番多く四十七人、ヒロポン十人、売春五人、その他放火、詐欺、殺人、家出などだが、その殆んどが売春をやっていたという、こんな娘が九十人、廿二人の教官と寝起を共にしている

唇染める入浴後　労働はあまり好まず

起床は朝六時、その前後に"乙女の祈り""トルコ行進曲"などの音楽がスピーカーから流れて朝を知らせる、「チリン〳〵」という鐘の音で全員起床、身支度、掃除ラジオ体操の後七時朝食、九時の朝礼までは洗濯、読書など身辺の整理、朝礼以後は美容体操、職業補導、農業、園芸、学科、十二時昼食、午後は職業補導、その他午後五時夕食、自由時間、七時反省八時就寝というのが日課だが、午後は比較的自由で自室でレース編み、洋裁、紙細工など好きな手芸に興じている

月二、三回の映画会、その月に生れた少女の誕生会などあるが少女達の楽しみは週二回の入浴日、この日は午後二時半ごろから自由に入浴できる、化粧品の持込は許されていないが、湯上りには赤絵具や赤チンまで持出して、ひそかに唇を染めては楽しんでいるという

だがこの日にいやな思いをする少女もいる、それは性病に冒された卅人の少女達だ、彼女達は特別浴場に入れられ別扱いされる「ひがませてはいけないと思うんですが」と、女教官の一人はいうが、彼女達の病気はちっとやそっとでは治らないひどいものだという

農業、園芸など園長も混ってやるが、労働はあまり好まない、「美しくなるには」と美容体操もやらせるが、これもあまり好まない、食堂で時々ダンスパーティをやるが「スクエアダンスなんかいや、マンボがいいわ」といっては教官を苦笑させるという

理屈の通らぬ純潔教育

「教育課程で一番やりにくいのは純潔教育です」と教官は歎く、既に純潔を失った娘らへの教育だからで、医務官がいうように「十二、三歳の知恵、卅歳代の身体」という変則的な少女達には理屈で割り切れないものがあるのだろう、教官の前ではコックリうなずいた少女が、洗濯場では「そんなことといっても無理よネ」と話し合っているのを教官は何度も耳にする、またC子(一八)は日記に「私は身体は売っても心は売りません」と綴って教官に反抗した、それでも「ほんとに悪かった…」と過去の過失を深刻に悩む少女の日記も二、三あって教官をホッとさせたという話もある

テコずる"嫉妬"や"愛情の表現"

新入生は初めの一週間ほど独居室に入れられる、気分を落着かせるためで、その後性格によって分けられ同居室に移される、新入生は古い少女達にとって興味の的になり、古参の間で新入生のとり合いが始まる、全員が集る食堂で古参が盛んに新入生の気をひく「フン、A子のヤツ新入生ばかり見てるじゃないか」「あんたはどうなのさ」とつかみ合いの喧嘩が始まる

女の嫉妬は教官の頭痛のタネで、ちょっと目を離すと「あの先生はこの頃私を愛してくれない」と、スネて作業や勉強をさぼる、D子(一八)は好きな教官の宿直の夜は必ずガラスをこわしたり、手紙を破ったりして事故を起す、理由を聞いてもただ黙って泣くだけ、教官を手古ずらせることがD子の愛情表現法なのだ、ここの少女達にはこのような傾向が強いそうだ

男性参観者に輝く瞳、身悶え　落ちつかぬ二、三日

教官は口を揃えていう「一性問題には一番頭を悩まされます」と、こんなことがあった、米軍将校が参観にきたとき、E子(一八)とY子(一九)は目を輝かせ身もだえして、しまいには奇声を発したという、彼女は外人相手の街娼だったのだ　男性の参観者があると二、三日はみんな落着かない、だから学園ではあまり参観を好まないようだ、米軍の飛行機を窓から眺めてウットリする少女もいる、各寮の出入口は鍵でとざされているが、しばしば脱走者が出る、E子(一八)も脱走した、翌日帰園して「ただ表へ行きたかっただけ」と教官に謝ったが、後日浴場で「あたいらは一年も男なしでは無理だよネエ」と話していたのを聞き、教官もおどろいたという

"女になった"少女達の性の悩みは想像以上のものだ、そういえば少女達はカメラを向けても決していやな顔をしない、部屋でレース編みに熱中する少女も洗濯場の少女も、みんな明るい表情にみえたのは、男を感じたからなのかも知れない、園長も「これだけは不可解だが、これをどうするかが今後一番の問題でしょう」と語っている

写真は(右上)榛名女子学園の正門(右下)母の日に描いたある少女の絵、家庭の寂しさが現れている(左上)自分のシュミーズを縫う少女達(左下)「よく出来ましたね」と教官にほめられて喜ぶ少女

モダン歳々記　地動説の発表

一五四三年五月廿四日、ポーランドの天文学者コペルニクスが七十歳で他界した。

彼は従来の太陽が地球の囲りを巡るのだという説を覆して、地球が太陽の囲りを巡るのだという所謂地動説を主張した。当時の人にとってこの説明はとんでもないでたらめにきこえ、教会の坊主達は聖書の神聖を冒瀆するものだとして怒りだした。

賢明なコペルニクスは、この自説を晩年まで懐中にあっためていて「天球の回転に就て」という論文の出版を死の前日の廿三日まで押えておいた。

後は野となれ山となれという訳でもあるまいが、死んだ者を罰することは流石に坊主でもできまい。彼はかくてまんまとこの新説を後世に残したのである。

彼の地動説は文芸復興期のヒューマニズムに大きな動因を与えている。これに並んでダーウィンの進化論の現代文化への影響も特記さるべきだが、アメリカ式プラグマチズム(実際主義)の一業績としてのキンゼイ博士の人間の性行為の統計的研究なども、確かに廿世紀以後の文化に画期的なエポックを与えるものになるだろう。キンゼイのコペルニクス的意味である。(鮭)

寸鉄街　あまからクラブ作

夏場所四十八手 =修学旅行版=

修学旅行に行かせても大丈夫かしらと(首捻り)をしていたが仕方なく、母親は坊やを(送り出し)

引率の先生は名所古蹟を(引回し)

旅館につけば、生徒は枕を(つかみ投げ)

連絡船では楽しい(波枕)と思いきや、船が沈むってえんで友達同士が(押飛ばし)たり、ボートに(飛違い)

乗り損なえば(仏壇返し)

親は涙にくれて(合掌捻)

怒った野党の面々、議会で政府攻撃を(浴せ掛け)

政府もさるもの、予算がないと(肩透し)

これでは残念ながら国民も(腰砕け)

斜説

「押売り消毒屋を取締れ」

最近郊外の住宅街に「衛生局から来た」と称して、家人の承諾も得ず便所や台所を消毒し法外な料金を請求する悪質な消毒屋が横行、毎月数十件に上る被害が出ている警察でも徹底的取締りに乗出すそうで、もちろん結構なことではあるが、しかし肝心なのを一つ忘れてやいませんか、といいたい、それは「赤色菌を消毒してやる」と称し、無断で他人の家へ上りこんで勝手な振舞いをし、千数百億円に上る消毒費用を請求する押売り消毒屋、その名前をアメリカという、当局はなぜこれを取締ることが出来ないのだろうか

☆バス恐怖時代☆

内心戦々キョウ〳〵で外
目にも入らぬマドの
タだ唯無事を念じつゝ
ガイドの声も聞えなイ
ム念無想のかいあって
遊覧旅行を無事済まス

あの手この手

ーコレハと思う彼女をモノにする法ー

そんなに乗り出さなくてもいいヨ、バスや電車の中でコレハと思う彼女に出会ったら、ジィーッと見つめてると、気配を感じて必ずこっちを向くから、スカさずペロリと舌を出してごらん、ゼッタイ、テキは吹き出すから、そうなりゃもうしめたもの　それからどうなるって?　チエッ少しは自分で考えろヤイ

愛読者優待　浮世絵鑑賞と温泉入浴

箱根強羅へ日帰り行楽　6月30日まで定期バス運行

☆東京駅から箱根強羅を往復遊覧バス使用、古美術鑑賞、温泉入浴等一切を含む(但し中食ご持参のこと)半額優待一名(通常料金一千円を)五〇〇円、小人三三〇円

☆遊覧コース・東京駅八重洲口(前八・〇〇)出発、江ノ島ー小田原ー強羅常盤ホテルー美術館ー強羅出発(後三・三〇)東京着(七・〇〇)☆会員券(会費五百円)をお求め下さい☆この紙面切抜き前売所で参加　前売所・本社事業部(56)八六四六、箱根登山バス(28)四四〇一、他に白木屋、松坂屋ビューロー、電鉄ガイド、小田急京橋案内所

後援 箱根登山鉄道・主催 内外タイムス社

あすの運勢　=五月廿四日=　高島象山

▲一月生ー困難を克服して幸福来り多幸なり商人は思惑的利益あり
▲二月生ー進んで敗北し易く退いて悩みあり内外共に自重してよし
▲三月生ー慢心から失敗を招き易い情で失態を生じ易い病気盗難注意
▲四月生ー時機正に到来して発展向上の日柄なり積極的に活動よし
▲五月生ー物事に急変輪落の義ありて意外の迷惑災害を蒙りやすい
▲六月生ー万事油断と慢心を慎み進退に注意せよ家庭的に不和あり
▲七月生ー何事も人気あがり信用を増し上位先輩の引立ある日なり
▲八月生ー不用意より難を受け不注意より損を招き易い異動変化凶
▲九月生ー他人の世話事は一切よくない交際外交上に間違い有易い
▲十月生ー好運にして物事順調に至る商人は利益多く官公吏引立有
▲十一月生ー物事に誤解を生じ迷惑把り易い情的災い生じ不和あり
▲十二月生ー縁談、疑ありて順調なるも積極的に内輪に悩み有易い

風流世界譚　(南ア連邦)

ケープタウンの羊飼いヒューマンの自慢は、自分が飼っている千頭あまりの羊を一頭、一頭、どれでもチャンと見わけられることです。羊をちょっと見ただけで、その年齢からその親、兄弟姉妹をピタッといい当てるという恐いような直観の持主ですが、燈台下暗し、妻のキャローのお尻の軽いことには長いこと気がつきませんでした。キャローはそれをいいことに、近頃は隣りの息子にまで手を出し、亭主の留守を見計っては家に引きずり込んで楽しむ始末に、ヒューマンもやっと感ずいて、ある日突然、ベッドの検査をしたものです。

「ウーム、おかしいぞ、これは」シーツの上から何やらつまみ上げて、ためつ、すがめつしていた彼は、「浮気をしていやがるな、このアマッ」形相物凄くキャローに詰め寄ります。「変なこといわないでよ。あんたかわたしのじゃないの、それ」彼は自信満々「いや、絶対にそうじゃねえ。俺は千頭の羊を見分けられるんだゾ。たかが人間のものぐらい、手ざわりでも判らア」

23日(月)　ラジオとテレビ

	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷劇「生きている山脈」(8) 25 物語「オテナの塔」	05 英語会話◇今日の市況 30 受信機講座 富村正春 40 科学クイズ朝比奈貞一	10 東西こぼれ話 小金治 15 スイート・コンサート 25 バイバイ・ゲーム	00 劇「少年宮本武蔵」 10 劇「すずらん太郎」 25 バンド・タイム	00 劇「ポツポちゃん」 25 劇「なんばん太郎」 35 歌謡百貨店◇相撲特集
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 三つの歌 司会・宮田アナ	00 20世紀の音楽 解説・鈴木博義 ジヨ・ゲージ他 30 若い女性(録音構成)「初夏です」	10 録音ニュース 20 文学サロン「寝園」 30 四つの明星 市丸 渋谷のり子 鳴海日出夫他	00 録音ニュース 10 紅茶サロン 御橋公 20 ものまねコンクール 市村俊幸 古今亭今輔他	00 ラジオ夕刊(耳の新聞) 20 花のステージ 中原淳 30 ❶漫才 天才・秀才❷落語「てれすこ」円歌
8	00 お父さんはお人好し アチャコ 浪花千栄子他 30 浪花節「太閤記の中・矢はぎの橋」木村重松	05 きょうの国会から 20 座談会「修学旅行と親心」奥野信太郎 宮沢俊義 木田文夫 阿部艶子	00 劇「アベ麗園」山形勲 永井智雄 緒方敏也ほか 30 タレント・スカウト 松井翠声 大泉滉ほか	00 六大学春の音楽リーグ戦 慶大ー東大 30 劇「雪之丞変化」市川中東 岩井半四郎ほか	00 ハロー・ハロー・クイズ 司会・テディ・中村 30 大学勝抜歌合戦 益田喜頓 山内謙一
9	05 ニュース解説館野守男 15 街録「子供の幸福は守られているか」川崎秀二 40 春子の手帳 メイコ他	00 名作劇場「役の行者」解説・河竹繁俊 嵯金四郎 加藤道子 名古屋章 川久保潔 山田巳之助他	10 銭形平次捕物控「蟬丸」滝沢修 渡辺篤 清水元 35 ❶漫談 西条凡児❷歌謡曲 越路吹雪 鶴田浩二	00 何処でも 徳川夢声と浪曲(その2) 30 歌謡浪曲「侍ニツポン」林晴夫 林わか	00 親子演芸会 ❶漫談 牧野周一❷歌 牧原弘二 30 歌の二人三脚 佐伯徹 宮崎恭子
10	15 シンフオニー・オブ・ジ・エア・N響合同演奏会 交響曲「運命」ほか	00 ❶初級英語 小野嘉寿男❷上級国語 増淵恒吉 45 気象通報	05 今日のニュースから 15 劇「新選組」木村功他 30 百万人の音楽古沢淑子	00 大学受験春期基礎講座 英文和訳 岩田一男 30 解析(1)田島一郎	00 劇「南無三宝」本郷秀雄 15 落語「てんしき」金馬 35 ノンちゃん雲にのる
11	10 世界をつなぐ 20 随筆「虎の子」高橋新吉	05 専門店化への道 20 睡液と病理福島万寿雄	10 ガラスの中の赤ん坊 45 ドン・ロドンイの歌	00 青空会議「基地の住民にきく」阪急豊中駅前他	15 庭先から出た古代文化 40 テニスの草分熊谷一彌

テレビ　★NHK★ ◆6・00 仲よしニュース◆6・30 演劇名所 アルバム 戸板康二◆7・03 シンフオニー・オブ・ジ・エア特別演奏会ニュルンベルクの名歌手ほか◆8・45 映画サロン「つばくろ笠」◆9・15 劇「やがて蒼空」　★NTV★ ◆6・00 紙芝居「花の木村の盗人たち」◆6・25 TVリサイタル ピアノ独奏 クロイツアー豊子◆6・45 手品教室 安部元章◆7・30 寄席中継 志ん生 英二・喜美江 馬生ほか◆8・45 小唄春日流温習会　★KR★ ◆6・20 人形と影絵「鐘」◆7・30 短編映画◆7・30 TV演芸場 落語❶鍋演説 馬風❷くしやみ義太夫 円歌◆8・00 シヨーボート物語 西村晃 井上靖子ほか◆8・30 タレントスカウト 松井翠声 大泉滉ほか

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問 峯村光郎 8・05 名演奏家の時間 8・30 趣味の手帳中西義孝 9・15 乗物のエチケツト 10・05 けさの話題松宮克也 11・15 朗読「曼子曼陀羅」	8・00 気胸の適応と利害 8・30 大作曲家の時間 9・15 ラジオ音楽国語教室 10・15 唱歌と器楽合奏 10・45 世界名曲めぐり 11・45 時の話題 向後英一	8・05 歌のない歌謡曲 8・35 劇「花のゆくえ」 9・05 ウツカリ夫人 9・30 音楽の花園◇想い出を語る 水谷八重子 10・10 名作アルバム「めし」	8・25 劇「青春のある所」 8・40 今日もよい子で 9・00 長門美保の独唱 9・15 ラジオ小説「三家庭」 10・10 たのしい童謡集 10・40 劇「君ひとすじに」	7・35 放送論壇 伊藤正徳 8・10 お早ようブーちゃん 8・45 お好み歌謡曲 9・00 劇「サザエさん」 10・00 やりくりチヨ子さん 11・00 連続劇「信子」

浪人街道　(165)

旅の空(五)　木村荘十　野口昂明 画

「若殿」

啓之助の前に平伏したのは、卅七、八の逞しい武士…。

啓之助は、こんな人物に覚えはない。

「誰方です?　拙者は、この江戸を大手を振っては歩けぬ日陰者、若殿などと云われる身分で御座らぬ。ま、その手をお上げ下され」

思わず出た、以前のかたくるしい言葉であった。

「いえ、手前は、元、白岡興平家の家臣、只今は浪々中で御座いますが、御分家、修理様の野望を砕かんと、同志を集めて起ちました浪人組の首領北川小平次と申しまするもの…先日来、さるお方のお思召もあり、陰ながら若殿を守護致しますもの…」

「おお、先日も深川で、危急を救われた浪人組…これは、これは、何時もながら忝けない。しかし拙者を若殿などとは有難迷惑」

「いえ、いえ、それもいずれ、お分りの時が参りましょう。詳しいことは、ここで申上げかねますが、何はともあれその女、奉行所などへ曳かれては、旧主の家に瑕のつく恐れもあり、手前にお任せ下さるまいか」

「佐吉さえ承知ならば」

「あッしゃァいなやは御座いません」

「おや、佐吉親分」

お艶は、佐吉を振り返って、「お前さん、一度おさえた罪人をこんな浪人の勝手にさせて、それでお役が勤まるのかえ」

「相変らず、人の弱身につけ込みたがる奴だ…不足だったら、北町奉行へでも何処へでも駈け込みねェ。手前の首を洗ってな」

「では」

小平次は、立ち上って仲間を呼ぶと、お艶を引っ立てていこうとした。

「痛ッ痛ッ、何をしやがるんだ。痛いところへ触りゃアがって、あたしゃ、腕を折られているんだよ歩けるもんか」

あられもない姿で、仰向けに寝転ぶのを、

「面倒だ、雨戸を外して縛りつけろ」

戸板に縛ってかつぎ出す。

「啓之助、覚えていやァがれ。あたしのお陰で助かったのに、私を斬ろうとなんぞしやがって」

お艶は、悪態をつきながらかつがれて行った。

啓之助は、ちょっと寝ざめの悪い思いがした。

嘘にも、自分が好きだと云った女である。だが、あれでは全く手のつけようがない。見送っていると、佐吉がつぶやいた。

「神明にいた時から莫連者だったが、大変な女になったもんでさ」

「しかし、最初から名の高い泥棒の情婦だというではないか」

「あれだけの綺量をもちながら、惜しいもんですな。あっしャァ捕物をしていて何時も不思議に思うのは、少し名のある悪党だと、不思議に相当な女が隠れているらしいんですがね」

「ふうむ」

「女って奴は、悪党が好きなんですかな」

「さア、よかれ悪かれ、強い奴に惹かれるんだろう。ところで、修理とかいう男、仕上げに国へ帰ったそうだが、身共もこうしてはいられなくなった」

啓之助は単身、下総へ行くという美代吉のことを考えていた。

中村歌右ヱ門丈の旅館　三田「歌茶屋」

初夏、旅行シーズンである。奥様か愛人同伴で、一泊の箱根旅行は悪くない。週末なら一週間の垢も疲れも落ちようが、何もわざわざ列車にもまれて箱根まで行くに及ばぬ。立派な旅館が都内にある　田町九丁目電停前の「歌茶屋」だ。"おしどりが静かを追って歌茶屋へ"という。歌の文句をそのまま、数寄を凝らした全部離れ屋式の宿である。今をときめく歌舞伎の大御所、中村歌右衛門丈が、金に糸目をつけず、贅沢三昧に建築したという旅館だから部屋調度は勿論、女中さんの立居振まいサービス一つにしてもみやびやかだ。庭は深山幽谷の面影で、松と石の配列、渓流、泉水が一つに溶け合ってせせらぎの音を伝え、橋を渡れば離れ屋が広い庭に転在するといった凝りよう。鯉が泳ぎ、鳥もさえずる。先ず箱根に行くに及ばず、と誰に奨めても恥かしくない立派なものだが、値段がまた安い。一室休憩四〇〇円、泊り八〇〇円いつも満員だから行くときはあらかじめ電話をすること。電三田(45)二五四八番。

秋田美人のサービスで酒をくむ　新宿二幸裏「ゐなか」

山の中の一軒家、小川のほとりに水車が回れば、二階のテスリにはミノ、スゲガサ、スキやクワが並んでいる。これが新宿二幸裏の「ゐなか」の外観だ。内部の部屋部屋は全て田舎の座敷か隠居部屋はては炉のある台所などのしつらえ。黙って座わればそのまま故郷へ帰った気分になれるが、揃いのカスリにムッチリした身を包んだ秋田美人のお酌で酒をくめばなお素敵。酔が回って秋田おばこや佐渡おけさがあなたの口から出ればなお〳〵素適だ。途中でつかえれば秋田美人のうるわしい唇から、あとはぞくぞくと民謡が飛出すだろう。田舎料理は何でもあるが、特に珍品好きのゴ仁の為には蛙料理まで用意してある。マムシ酒一〇〇円、ビール二〇〇円、ノーチップで席料もない。眼の美しい藤尾さんなどちょっと口説きたくなる程の魅力の持主だ。

神経疾患に卓効　都内で唯一の温泉「音無川温泉」

温泉法の指定を受ける温泉をもつレッキとした旅館は都内には唯一軒しかない。国電王子駅から五分、北区役所の西裏にある「音無川温泉」だ。吊橋から溪谷を望み飛鳥山、紅葉寺などを近くに控えた幽すい境、東京都とは思えぬ場所だから一泊旅行とシャレて遠出の気分を出すにはうってつけだ。しかもこの温泉の効果は卓越したもので、神経系統の疾患や皮膚病、婦人病に優れた効き目がある。貧血や神経衰弱なら二、三日の滞在でケロリとするというから、都内の人々のみか遠く奥羽地方の温泉の本場からも杖をひく人が絶えない。先ず"東京の温泉"として誇っていい存在だが、旅館としての設備、風呂の豪華さからいってもチャチな〒マークの比ではない。単に温泉に入るだけが目的でも、百円の大衆席があるが、アベックなら一室五〇〇円をフンパツすること。数寄屋風の純日本間で、設備もよく、女中さんのサービスも飾らない親切味のにじみ出たものだ。食事がつけば一人八〇〇円で泊ることも出来る。

一流ホテルでお泊り千円「ホテル赤坂」

大衆に開放された高級ホテルとして名高い「ホテル赤坂」は、都電赤坂見附を下車して渋谷に向ってちょっと行った右側、池田建設とオーツタイヤの間を入った所にある。食事だけしていいグリルがあるのは本格的ホテルの証拠だが、食事がまた旨い。ちょっと一杯、カクテルでも飲みたいときはバーに降るといい。興が向けば踊っていいフロアがある。二人づれなら一夜を夢のような気分にしてくれるだろう。テレビもあるから白井・ペレス戦の観戦に利用すれば正にリングサイドだ。温泉はロマンス風呂で、湯上りにはスプリングの利いたベットに身を横たえれば申し分ない。最近またまた値下げを断行、二人で休息五〇〇円、泊り千円となった。

集めた大陸出身者の名簿十万人　変ったキップと味で売る「餃子会館」

福田社長以下従業員がオール大陸の学校出という、新宿都電終点ジューキミシン横の「餃子会館」は、さすが餃子の本家だけあって味がいいのは勿論だが大陸の経験を少しでも人々の役に立てようと、創立当時から集めた大連の日本人名簿がザッと十万人分。大連中学、同一中、二中、商業、彌生高女などの卒業生名簿から、経友会国際運輸の社員名簿、ハルピン工大、安東中学、安東高女、青島中学、同高女、新京白蘭小学校など卒業生、関係者の消息にも通じている。大連で生き別れした恋人や友人を「餃子会館」で探し当てゝ涙を流して喜ぶ人々が、その後スイートホームに入ったお礼に来て餃子を食べるホホエマシイ姿もある。もし満州国関係者で知り合いの消息を知りたかったら一度訪ねるといい。福田社長が親切に知る限りを教えてくれるだろう。この店は戦後東京の餃子の草分け、創立当時から店内に大連の切手やハガキスタンプなど珍品を飾って喜ばれていた。西荻窪駅北口銀座通りと池袋西口シネマ東宝横に支店があり、常連に古川ロッパ、波島進、三田隆、灰田勝彦など映画人や塚田元郵政大臣など有名人が多く。店の気分、サービスも至れりつくせりの店である。

謝火災見舞　連絡店銀座西七ノ六妹店へ田村町二ノ六バー花岡菊子 電(43)八六二六

国籍喪失声明　茲有陳京英因離婚已喪失中華民国国籍在案特此公告　中華民国四十四年五月二十日　陳京英

七年ぶり自動車強盗四人組挙る

今は高校教官、公務員

運轉手殺しの旧悪ばくろ

終戦直後の廿三年三鷹市で自動車強盗を働き運転手を殺し、車を奪って逃走した強盗殺人犯四人組が七年ぶりに警視庁に逮捕された。このうちに現在高校の教官や公務員になりすましていたという驚くべき事実が発覚した

事件は廿三年三月一日午後七時ごろ、三鷹市大沢一二八八先道路脇に手を後手に縛られ首を麻縄で絞殺された男の死体があるのを通りかかった同市の工員富田一さん(三)が発見、三鷹署大沢駐在所に届出た

三鷹署に捜査本部を置いて捜査を開始したが被害者は墨田区吾嬬西一の一〇八帝都自動車曳舟営業所運転手伊藤亀治さん(四九)で現金二千円と腕時計とダッジ卅五年型黒塗り代燃車時価四十万円が奪われていたことがわかった

犯人についてはその後未検挙のまま本部は解散迷宮入りとなっていたが、本年に入ってたまたま府中署の某刑事が土地の不良から聞き込みを得て内偵の結果、五月十六日主犯の長野県駒ヶ根市赤穂町駅場一三八一前科三犯自動車運転手原米市(三)を逮捕、追及したところ前記犯行を自供芋ずる式に十九日に北多摩郡東村山町一〇三復興社株式会社経理係白石政幸(三〇)を廿一日には群馬県山田郡大間々町一〇七三群馬県立大間々高校夜間部教官角田精一(三)を、廿二日には群馬県利根郡片品村字鎌田四九〇同村森林組合技術員前科一犯菅沼照良(三七)を逮捕、いずれも犯行の全貌を自供した

自供によると四人は廿三年二月廿九日新宿区花園町の旅館月光荘で落合い自動車強盗を計画、三月一日午後六時頃銀座松坂屋前から伊藤運転手の車に乗り込み半蔵門を経て女子医専前まできたとき停車を命じ、客席にいた白石と菅沼がいきなり首に紐をかけ客席に引きずり込み絞殺助手台の原が運転し伊勢丹脇から甲州街道を通って三鷹で死体を捨て、さらに車を運転世田谷に乗り捨てたもの

不良仲間の四人

主犯の原は復員後廿二年五月ごろ肋膜のため伊香保に療養したが金が続かず、七月頃群馬県沼田市の光モーターに住み込みで働くようになったところ土地の不良角田、菅沼と知り合い、小遣い稼ぎからタイヤ泥棒、自動車詐欺などを働き利根地域署にも検挙されたことがある

なお角田は犯行後郷里に帰り母校の利根農林学校の教官におさまり昨年大間々高校に転任、先生としての評判はわるくなかったという

また菅沼は群馬県利根郡片品村森林組合の技術員として幅をきかせていたもの

(上から)原、菅沼、角田、白石

脱走目的を追及

菊地の本格取調べ始る

菊地正(三八)脱獄事件の東京亀有署係は動かせぬものとみて菊地の自一雄(新宿の女中殺し犯人)を通じ

天覧の日に五百番目

最古参力士若瀬に二重の喜び

"六百番はガン張る"

意氣軒昂、老兵未だ衰えず

やぐら太鼓の音が青葉の風に乗って大相撲夏場所も明日で十日目、前さばきのうまさ幕内随一といわれる東前頭七枚目若瀬川はこの日大晃との対戦で幕内取組五百番力士となる、体を張った勝負の世界だけに五百番力士も名寄岩につぐ二人目、その上この日は天皇陛下が初めて大相撲を見物される日でもあり、晴れの「天覧相撲」となる、若瀬川の喜びは二重だ

「もう五百番になるかネ、闇に戦争があったりして忘れちゃったヨ」支度部屋で出を待ちながら、ご本人はアッサリしたもの「でもさびしいネ、一緒に初土俵をふんだ照国関(荒磯)も増位山関(三保ケ関)もいなくて…戦前からで残っているのはワシだけになった」名寄岩が引退した後の幕内では最古参、力士会の理事を務めている「まだとるヨ、そうすりゃア六百番力士だネ」最近ふとって最高の卅貫五百となった体をゆすって笑う

本名服部忠男、卅五歳、兵庫県武庫郡本庄村出身、力士になる前の服部少年は野球に柔道とスポーツなら何でもこいの万能選手だった、十四歳のとき五尺七寸五分、廿三貫という怪童となり本庄村でオケ屋を営む父親庄太郎さんが大の相撲ファンだったので先代若瀬川に頼みこんだが昭和十年、それから「相撲の神様」といわれた兄弟子幡瀬川(楯山)の火の出るような指導が始った、今に残る前さばきのうまさ、右をさし左からの上手投、二枚げりと技巧者若瀬川の面目が築かれていった

しかし一番思い出に残るのは取れたとはいえ十九年春、初めて双葉山と交えた一戦だったという、戦後廿二貫にやせた体にムチ打って廿五年秋場所には小結に昇進、技能賞も廿三年夏、廿九年春の二回獲得、入幕いらい休場たった八日しぶいすまいぶり、不断の節制とたゆまぬ努力、角界随一の人格者—いわゆる「通」に若瀬ファンの多いゆえんだ、最後に荒磯親方の若瀬川評をつけておこう

技はうまいがどうも切れ味が足りない、でも人格はよくできている、部屋のことも安心して任せられる

喜びを語る若瀬川

岸海上屋

○…夏呼ぶ都会の花が梅雨を前にし、美しく開いた—赤、黄、紫とまるで朝顔のような彩り—この写真をみて大磯か江ノ島海岸では…と錯覚を抱くお方があるかも知れない—

○…隅田川を背景に浅草松屋屋上からレンズで覗いた都会の初夏模様なのである、ポン〳〵と川を上る小蒸汽船、向島の桜堤はスッカリ青葉に衣がえし、梅雨明けの夏を待っている

【写真は浅草松屋屋上】

美人揃いの神田パリス

わが娘を売って新築

少女を食う 悪質人身売買団

青少年保護育成運動期間中、店を新築するためわが娘を特飲店に売り飛ばすなど、少女を食いものにしていた悪質な人身売買が明るみにでた、警視庁保安課衛生係では廿三日までに江東区亀戸三の四八特飲店"筑波"の経営者前科二犯新名うた(六四)静岡県加茂郡稲生沢村蓮台寺五六二魚屋新井作太郎(四二)同妻きくえ(三五)、同県田県郡善寺瓜生野六七七日雇人夫平尾きよ子(四二)熱海市泉五軒町三九無職竹村ちや(四六)の五名を児童福祉法、勅令九号、職安法各違反の疑いで検挙した

調べでは新井夫婦は魚屋の店舗を新築しようと考え昨年十二月廿二日自分の長女A子さん(一七)に「親のためだ、身を売ってくれ」と頼み、やはり家計を助けるため新名方に接客婦として自分の娘(一九)を身売りさせた平尾を通じ前借金卅万円でA子さんを新名方に身売りさせ、その金で夫婦は村一番豪勢な平屋店舗兼住宅を新築した

また、竹村はさる廿七年十二月廿四日同村のB子さん(一六)に「月三万円ぐらいになるよい働き口がある」と言葉巧みに新名方に連れ込み客をとらせていたが、年令が児童福祉法に触れるので新名と共謀し、B子の縦姉C子さん(一八)の戸籍謄本をとりよせ、B子をC子さんに仕立てて客をとらせていたもの、なお、竹村は客付きがいいため少女を好んで集める悪質業者で、前にも児童福祉法違反で検挙されたことがある

介抱スリ三名逮捕

深夜の東京駅で二名逃走

廿三日午前零時廿六分ごろ東京駅中央線立川行二四三三A電車の四両目で居眠りしていた埼玉県北足立郡与野町上落合二の四三〇電々公社職員茂永寿三郎さん(三四)を五人の男が取り囲み、ボストンバッグの中へ手を入れているのを東京駅公安室曽我公安員ら六公安員が発見、逃げようとするのを第三ホームの中央で格闘の上三名を逮捕した

三名は住所不定高橋国雄(三五)横浜市南区南大田三五自動車修理工石井良(三四)川崎市栄町一〇四八饅店商篠崎照夫(三七)で、身柄を丸ノ内署に引き渡した

ウィンク戦術でゲンワク

9-5 女子軍、灰田チームを破る

本社後援の「歌合戦野球試合」がきのう廿二日午後一時から千葉県営グラウンドで行われた対抗チームは灰田勝彦はじめジャズの柳沢真一、作詩の佐伯孝夫、プロレスのユスフ・トルコなどの灰田チームに、お色気とショウが売物の女子プロ球団日本興業シスターズ、試合に先だって両チームの歌合戦にファンは大喜びで、場内約一万五千、場外の小山から無料観衆一万五千と同球場始まって以来の大入り

試合は千葉市商工会議所会頭や察本社々長の挨拶があって宮内千葉市長の始球で始められたが前半有利な戦いをすゝめた灰田チームは、九回シスターズ得意のウィンク戦術にやられて9—5で女子プロが貫録をしめた

結局本社の歌合戦優勝トロフィーは灰田チーム、野球優勝トロフィーはシスターズがそれぞれ獲得した、結果次の通り

SH	000	020	210—5
S	000	100	026—9

バッテリーH灰田(勝)—吉沢 S石原・清水・伊藤—宮城

満員の観衆を前に両軍挨拶しいよいよプレイボール＝千葉県営球場にて＝

偽物"南京虫"で詐取

全国股に 質屋泣かせ五百件

本物そっくりの粗悪時計をスイス製南京虫と称し質屋専門に詐欺を働いていた男が廿二日夜練馬署に捕った、廿二日午後練馬区大泉町一五一〇質商高陣屋＝経営者加藤岱さん(三四)＝方にスイス製南京虫で二千円借りて立去った男に不審を抱いた加藤さんが時計を調べたところ原価五百円程度で一ヵ月ぐらいしかもたないインチキ時計とわかり一一〇に急報したため、西武線大泉学園駅で練馬署員に捕った

男は北海道札幌市南十六条西七丁目時計商中西政雄こと中山精一(三)で、昨年はじめごろからインチキ時計を多量に仕入れ、質屋や古物商であらかじめ本物を示して信用させ、店員が奥に引っこんだスキに偽物とすりかえるという手口で、全国をまたに五百件(東京七十件)計百万円相当の詐欺を働いていたもの

なお当局では「競輪でスッタからこの時計を買ってくれ」の通称"競輪時計"の取締りがきびしくなったため、新たに"質屋時計"が現われたものとみて製造所を追及するとともに被害者の届出を待っている

新品自轉車二百五十台を詐取

【立川発】都下福生署は廿二日夜住所不定無職古谷聖吉(四二)を詐欺容疑で逮捕した、調べではさる廿一日午後七時半ごろ知合いの都下西多摩郡福生町牛浜四四八百屋渡辺弘さん(三四)方から新品自転車を「自分の自転車がこわれているから、ちょっと貸してくれ」と乗り逃げしたほか、廿八年五月以来関東一円に同様手口で新品自転車専門に二百五十件の詐欺を働き、遊興費にあてていたもの

失恋学生服毒自殺

【静岡発】廿二日夜十一時半ごろ沼津市香貫山の中腹で、年齢廿歳ぐらいの学生が睡眠薬自殺を図り苦もん中を通行人が発見、沼津市立病院で手当を加えたが間もなく死亡した、同署の調べでは学生服に「工藤」とネームが入っており遺書には「お母さん、静江さん、先生、不孝を許して下さい、静江さん、わたしの気持ちは嘘じゃなかったでしょう」と書いてあり、失恋の結果であるらしく、身許不明

宿直員脅し鉄線奪う

廿三日午前一時十五分頃江戸川区一之江一の七九〇中央製鋼株式会社宿直室に黒服、ゴム長をはいた二人組の賊が侵入、小使の滝戸重規さん(六〇)を短刀で脅かし、梱包用鉄線(時価二千円)を奪って逃げたと小松川署に届出た

ダービーに臨時電車

東鉄では廿九日の日本ダービーに中央線東京、新宿—東京競馬場間に下り六本、上り九本、また南武線川崎—府中本町間に下り十本、上り七本、立川—府中本町間上下各五本の臨時電車を運転する

松戸競輪五日目成績 ◇第一B(千) ①北爪貢1分22秒6②秋葉良1/2車③西川爽(単)370円(複)100円110円190円(連)⑥—④590円 ◇第二B(千) ①松崎昌1分28秒1②小川和③吉田爽(単)130円(複)100円150円110円(連)③—⑤500円

独眼灯

○…廿二日午後四時ごろ谷中署M刑事が上野動物園をパトロールしていると、パーマをかけたセーラー服、女学生風の可愛い女がお猿にみとれている中年婦人の鞄にすーっと手を突っ込んだ

○…ムスメスリご用、とその場で手錠をかけ本署へ連行し所持品を調べると、手提の中から財布が八個、現金四万円が転り出て来た

○…女学生とは服装だけで茨城県生れ住所不定S子(一九)入墨まであるズベ公で「アタイだって年ごろともなれば遊ぶお金がほしいよ女学生に化けたのはその方が仕事がやりよいからさ」とふてくされていた

あすのスポーツ △プロ野球 巨人対廣島(七時、後楽園)国鉄対中日(七時 川崎)毎日対大映(二時半、駒沢)△大相撲十日目(九時、蔵前)△女子野球 坂口豹対京濱(二時、東生)△競馬 浦和(零時半)

上野の象徴

(東京アクセサリー 7)

なき魂の持主であることを表わす顔の部分は、納得のいくまで何十回となく原型を作り直したという、その甲斐あってできた

上ったのは誠に素晴しい出来栄え、近くによっても高さ七尺(像だけ三・六尺)のてっぺんではとくとみられない読者のために望遠カメラで写してみたのがこの写真である

○…こうして、明治卅年十二月十八日の除幕式以来、六十年になんなんとする長い歳月の間幾千万人に親しまれ愛されてきた、戦争後、お定りの「平和の女神」ブームで駅の正面にできた「なぎさの天使」に人気を奪われたこともあったが、いまは昔にかえって、お上りさんも家族連れも、修学旅行も、はては家出娘、モサ公(スリ)デカさん(刑事)まで、さまざまな人たちがさまざまな思いでただずむ「都会という名の人生のプラットホーム」—それは始発駅か終着駅かは知らない—上野の欠くべからざるアクセサリーになっているのだ

【写真は西郷さんの顔】

171

エムさん 石川進介

大相撲 夏場所星取表

(○勝 ●負 し不戦勝 ■不戦負 や休)

[星取表の勝敗記号は判読不能]

夏場所十日目取組

(西)	(東)
松恵山	岩風
神雷	森ノ里
秀錦	鶴美山
増巳山	伊勢錦
起雲山	神生山
前ケ潮	小野錦
常錦	二所錦
大士崎	筑後山
八染	鶴波
鯉ノ勢	時錦
松井	那智山
豊ノ花	大竜
東海	鬼竜川
出羽花	白雄山
二豊山	福ノ里
吉井山	太刀風
七ツ海	秀湊
前ノ山	平鹿川
玉風	剣竜
楯甲	大田山
＝中入り＝	
平ノ戸	緋縅
大瀬川	星甲
芳野嶺	若羽黒
白竜山	清水川
泉洋	桜国
清恵波	広瀬川
若ノ海	鳴門海
潮錦	常ノ山
栃光	北ノ洋
出羽湊	大天竜
神錦	成山
大昇	国登
大晃	若瀬川
双ツ竜	宮錦
二瀬山	若葉山
島錦	大蛇潟
大起	若前田
玉ノ海	鶴ケ嶺
安念山	羽島山
時津山	出羽錦
琴ケ浜	松登
若ノ花	大内山
信夫山	鏡里
栃錦	三根山
朝潮	千代山

あすの好取組二番

▽信夫山—鏡里＝慎重な鏡に差し手の名人信夫の対戦、右の相四つ前さばきのいい信夫だから鏡は立合いに十分警戒を要し、一歩前で仕切ればいいが、さもないと信夫の双差し、頭をつけた体勢で寄りたてられると四つ身の巧い信夫を料理するのは面倒、鏡右をとらないと全勝街道を阻まれる恐れ十分

▽朝潮—千代ノ山＝千代優勝にかかわる二番、立上り千代の突張りに五分に渡り合う朝だから千代は早く立たなくてはなるまい、右四つになれば千代有利だが、やたらに投げにいくと体力ある朝に却って腋をつかれる、朝右で上手をひき、投げを警戒しながら左差で押せば千代は苦しくなる(吉川)

「ないがい風流譚」

(浮かれワン公物語)

新橋駅正面玄関前の某養室は、異色の中国料理店として人気をあつめている店であるが、こゝを経営してゐるW氏がまた大の犬キチガイ。店内の正面には凡そこんな店には不似合な大きな秋田犬の写真が飾ってあるW氏の青山の自宅にはこの犬を始め秋田犬ばかり三頭いるが、子供のいない彼はこれを目に入れても痛くないような溺愛ぶりで、このお犬様たちは毎日肉、玉子は申すに及ばず、林檎やチーズまでお召上りになる。このW氏が最近何を思ったのか、自分は酒が嫌いなくせに、ワン公に酒を飲ませ始めた、最初のビール、ブドー酒はまだよかったが、事もあろうに三十八度もある五加皮酒を飲ませたのだから堪らない。ワン公等はあの中国酒に恐れをなして、壷の影を見るや否や逃げ回るのだが、小屋の隅に小さくなっているのを捕えて来て口を割り直接口うつしに五加皮酒を流し込むのがまた一六苦労である、果して効果や如何にと見守っていたら、一日二日は食欲が出た程度で他に異常はなかったが、三日目には牝(メス)犬を追かけてこれに股がり、怪しげな腰の運動を始め出したのである。牝犬にとってはまだサカリの時期でないから正に迷惑千万だが、流石のW氏もその顕著な効果にあいた口がふさがらなかったという。読者諸ケン(賢)よ、我と思ばん者は試みられては如何?同店では一品料理の注文者及び夜十時以後来店の客に裕源泰の中国酒を無料でサービスしてゐる由である

続 情炎の千代田城 (125)

岩崎栄
寺本忠雄画

さみだれ(九)

血が、頭から胸からも、脚からも――。そして気絶していた。

その半兵衛が意識を取り戻して、佗びしく古びた山家の一と部屋に寝かされている自分を発見した。

起き上ろうとして、体じゅうにピクリッとした疼痛を感じた。右脚が動かず、重いものに圧さえつけられている感じだし、左の腕に何かぼろ布れを巻かれているし、頭も、顔の半分にかけての繃帯だ。

さて――と考えて、朦朧とした意識がハッキリするにつれて、醜態に歯ぎしりするばかりの自嘲が湧き上がって来た。

とにかく、惨じめな敗北を自認させられた。討ち負かされて、負傷させられて、気絶して、おまけに敵のお慈悲でこゝに介抱されたのか!　なんたる態たらくだ。あれは?　と肝心の密書に気がついた。

畳が破れ、カマチが虫ばまれた床の上に、自分の編笠と刀が、チャンと置かれてある。何だかからかわれているようだ。笠も刀も持ち主を嘲り笑っている。むろん、あの中の密書は抜き取られている筈だ。何という醜態だ。使命は完全に失敗した。武士として、このいのちの在り方は、たゞ潔く自刃!　それだけだ。

ところで、敵は?　あの男女はどうしたのか――密書を奪い取って、意気揚々と江戸に凱旋したのだ。あっぱれな敵だ。

それにしても、どういう負け方をしたのだろう?

いくら考えても、岩壁をうしろに、サッと飛び上がった――あがりかけていた――それから次の瞬間が、どうなったのか、まるで記憶に無かった。想像を逞しうしても、とんと思考の断層に突き当って、それから後のことがすこしも判然しない。片手をかけた岩の端が崩壊したとは知るよしもなかった。

ぶざまに道へ伸びていた自分を、誰か通りすがりのものが、ここに運んで介抱してくれたものとは想像出来る。こゝは一たい、どこか。あの場所からさして遠くはあるまい。旅籠か、茶店か――おもての方で人の声がしている。腕が動かせぬから手は叩けない。

「おゝい!」

と呼んでみた。声がかすれている。もう一度、

「おおい!　もしッ!」

「はい」

すぐ隣りの部屋で、濁りのないきれいに澄んだ女の返辞があって破れ襖がしずかに開いた。

「あ!」

忍びすがたのあの女、あの敵が現われた。あの敵が、あの姿のなりで、しかしいかにも女らしい物腰で、曲線の張り切った膝を折り、指を畳について、

「お気がおつきなされましたか」

眼がにこやかに、

「お怪我は、たいしたことはございません。おつむと、おみあしと腕を、岩の角で、ほんの小さな裂け傷や、打ちみですから」

「なに、岩で?」

「ご存じないのですか。そうでございましょうね。わたくしどもをアッといわせた鮮かな跳躍をなされましたとき、上から崖が崩れかかったのでございますよ」

わかった。そうであったか。

「決して私どもが勝ったのではございません。御運がわるかった。それだけです。ですからまだ勝負はついて居りませぬ。あの……」

と床に面を振って、

「お笠の紐の中も、刀の鞘の中も異状はございませんのですよ。わたくしたち、一指もつけては居りません」

歌舞伎俳優の映画出演に批判

演技にはマイナス

〝意欲〟よりも〝収入〟の魅力?

坂東鶴之助　坂東蓑助　大谷友右衛門　松本幸四郎　河原崎長十郎　中村時蔵　中村錦之助　[illegible]右衛門　中村扇雀　市川松蔦

このところ歌舞伎俳優の映画進出が目立ってきている、この裏には映画に出演すれば芝居の十倍以上の収入になるという金銭的な問題も絡んでいるが、関係者は芸にとってはマイナスになる面が多いといっており、また関西歌舞伎の場合などは若手花形がぜんぶ映画にでているため、重大な危機に直面している有様だ、そこで近ごろはマトモな映画に出演するのならともかく、金のために出るならやめたほうがいいという声がボツボツ高まって来ている

近く撮影予定および現在進行中の映画で歌舞伎俳優の出演するものをザッと見わたすと、河原崎長十郎ほか前進座全員出演の東映・近代映協提携「鳴神」をはじめ、松竹作品では尾上梅幸、尾上松緑、坂東彦三郎ほか菊五郎劇団総出演の「絵島生島」吉右衛門劇団の松本幸四郎と、このたび松竹に復帰した大谷友右衛門の義兄弟が主演の「荒木又右衛門」中村賀津雄主演の「少年宮本武蔵」坂東蓑助出演の「修禅寺物語」日活では坂東鶴之助主演「木曽の風来坊」「大岡政談」東映では中村時蔵、錦之助、賀津雄の親子主演「源義経」賀津雄の第一回作「振袖剣法」大映では市川松蔦出演の「藤十郎の恋」市川雷蔵の「綱渡り見世物侍」東宝では尾上九朗右衛門が「続・宮本武蔵」「夕立の武士」の二本に出演中のほか宝塚映画で中村扇雀が「海の小扇太」に主演している、これらのうち菊五郎劇団と前進座坂東蓑助、市川松蔦などの映画出演は筋が通っているようだが多くの場合、歌舞伎俳優がなぜ映画にでたがるか?　という根本問題の裏には、映画のほうが芝居にでているより収入が多いという魅力が多分にモノをいっているようだ

俳優の方では歌舞伎の封建性にあきたらず芸術的意欲のハケ口の一つとして映画に走るのだということを旗印にする場合が多いが、たとえば大谷友右衛門を例にとってみれば、僅かに彼の意欲を満し、また評判の良かったものは最初の「佐々木小次郎」ぐらいのものでやがては映画スターとしての彼の名声があがるにつれて、こんどは彼自身がその契約にしばられて商業主義的な映画にもでねばならず身体の空くヒマもないといったハメにおち入り、結局、失意のうちに古巣に復帰がかなったわけだ、また中村扇雀は先年新橋演舞場での「曽根崎心中」のお初で芸術祭奨励賞を受けた際は感激のあまり「こんごは舞台に専心する」と言明したがやはり映画にじゃんじゃん出演している、鶴之助は、扇雀の父中村鴈治郎の態度にあきたらず映画界に飛びだしてしまったが更に市川寿海の養子である市川雷蔵も大映に入るといった具合で関西歌舞伎の将来は重大な危機にひんしている

こういう具合だから映画にでてばかりいれば忙しいスケジュールに追い回され、また娯楽本位の作品にもでねばならぬところから芸の修業の点でマイナスになるのは当然で、一部の若手俳優たちは歌舞伎の将来のために憂慮しているが、先ほども尾上九朗右衛門が坂東八十助、大川橋蔵あたりから「研究劇団でも組織して若手と一緒に歌舞伎に根を生やした仕事をやるべきで、映画は反対だ」とツルシあげられた一幕もあり、これらの若手連はじめ歌舞伎界の将来を憂慮する人々の間に〝映画出演是か非か〟の問題がようやく真剣に考えられてきたようだ

おしゃべり横丁

山狩り
そんな筈じゃなかった
―猪

映画やぶにらみ

二番煎じだが楽しめる

「制服の乙女たち」(東宝)

▽…私立の女子高校、そこの後援者である大財閥の御曹司(石原忠)が花嫁探しをする、さァ幸運の玉のコシに乗る生徒は誰?　というわけで学園内は騒がしくなる…このところ東宝が青春物の一手専売のかたちだが、これは雪村いづみ、青山京子の初顔合せが売り物の明朗篇、二人が仲良しの女学生となって登場する、演出青柳信雄

▽…まず御曹司が先輩の新聞記者(小林桂樹)と替え玉になる、何度か使われ尽した手だが、こうしないと話はトンチンカンになって来ないわけだ、本物とはつゆ知らず青山京子が御曹司と仲好くなるのも定石のとおり、しかしながらこう二番煎じばかりではありながらたゞ何となく楽しんでみてはいられる、青山、雪村のいかにもティーン・エイジャー・スターらしい新鮮さがいわばその魅力の中心というわけだ、特に雪村が前作「大番頭・小番頭」あたりからなかなかいゝ味をみせるようになって、この分では映画スターとしても楽しめそうな存在になって来たといえそうだ、この作品の中でも青山生徒の方は、結婚とか恋愛とかちょいとマセ過ぎた話になるので冴えないが、雪村生徒はジャズを歌ったり、探偵狂のボーイ・フレンド(江原達治)と跳ねっ返えって笑わせている、極く若いファン向き(静)

…その一場面…雪村(右)と青山

お土産にはフラダンスでも

照千代のハワイ便り

▽…早いもので師走の風の吹き荒ぶ日本を発ってから五ヵ月、もう初夏の候となってしまいました、でもこちらはクリスマスの時も今もまるで同じ気候で、ハワイへ着いた時と同じものを着ていられるのですからラクなものです、これだから長くいるとボケてしまうわけですね

▽…先日の休みに久しぶりでワイキキへ泳ぎに行きました、五ヵ月もいてさぞ泳げるだろうとお思いでしょうが、それがどうしてなかなか泳ぐ時間がありません、結局夜が仕事なので、休みでない日は疲れるから考えてしまいます、はじめて波乗り板で波乗りをしましたが実に愉快でした、ひっくり返って岩で足を少々切ったのはナイショナイショ

▽…ポリドールの方もどうなったことですか、そろそろ帰る支度にお土産にフラ・ダンスでも習わなければと考えていますが、私も帰ったらまたまた就職難の波にまき込まれなくてはならないなんて、全くセチ辛い世の中ですネ

ホノルルのクラブ・オアシスで歌う照千代

『春琴物語』に最優秀映画賞

東南ア映画祭で

シンガポールで開催された第二回東南アジア映画祭は廿一日幕を閉じたが、大映の「春琴物語」は最優秀劇映画賞を、また松竹の「亡命記」は劇映画、映写技術、録音、美術の三賞のほか主演の岸恵子が最優秀女優賞を獲得した(UP=共同)

世界平和愛好者大会に松山樹子が出席

六月廿二日から廿九日までフィンランドのヘルシンキで行われる世界平和愛好者大会に日本のバレエ界からも松山樹子が参加することになった、彼女は六月十八日羽田発空路ヘルシンキに向うが、日本からは木下順二、火野葦平氏ら各界代表四十名が出席する筈、なお松山樹子は引続き七月に行われる世界母親大会並びに同月下旬ポーランドのワルシャワで開かれる世界青年祭にも出席、九月末帰国する予定、これに先立ち六月十二日六時から日本青年館で歓送バレエが上演される

世界青年祭は各国の青年が集って郷土舞踊や各種競技を行うもので、わが国から芥川也寸志が作曲コンクールに参加するといわれている

【写真は松山樹子】

催し　俳優座五期生演技実習発表会　廿六―八日、麻布公会堂(都電三河台、バス六本木)で、演目は森本薫作「みごとな女」一幕(河盛成夫指導)秋元松代作「婚期」(阿部廣次指導)三島由紀夫作「燈台」(杉山誠指導)毎日五時開演、入場無料

名選 都々逸　石井きんざ選

苦労しがいがどうやらあって好きな同士が持つ世帯　千束・大島野人

戀の糸ひく今宵の雨に濡れる気でいる夜もすがら　世田谷・森山阿呆奴

踊るあなたを角まで送る夏も間近かな空の星　文京・木村いつ秋

今夜こそその手にゃ乗らぬときめてたことも忘れてしまった一つ床　大田・鈴木一正

人目に付くから後から来いと世間を怖わがる意気地なし　杉並・河原千惠子

◇

無理いう困らす腕白すぎるあなたに坊やはうり二つ　選者

その日その人 (19)

一龍斎貞山

【とき】青空に雲が流れていかにも初夏らしい静かな感じの昼過ぎ、もうすぐ〝お化け〟の季節がやってくる、義士外伝の堀部安サンじゃないけどお酒がなにより大好きな貞山はゆうべも一升ビンを膝元にひきつけながら怪談原稿の執筆で夜明ししたとはみえぬ張りのある顔で、高座用のカツラやお面つくりに余念がない、これだけが〝道楽〟だというんだからお固いことである

【ところ】怪談にはご縁のふかい四谷、黒板塀に囲まれた貞山宅、外を通り過ぎるトラックの音が時折り部屋の中まで響いてくる

道楽は高座用のお面作り

お化けが足を出した話を一席

腹イセでなった講談師

「【わ】たしは少年時代、講談師よりも役者になりたかったんですよ、父が商売上の関係でジッコンにしていた洲崎の甲子楼という引手茶屋のおかみに話したところ、それじゃ橘屋(羽左衛門)さんと心易いから…と骨を折ってくれたんですが、橘屋さんの曰く、修業は難かしいものだから兵隊検査までは親許へやらないでは、籍も入れてくれなければ駄目だという訳で、二人しかいない子だからそれは困ると父が反対したので沙汰やみになったんです、それで腹イセに講談師になったわけです、怪談をやるようになった原因といえば、これで子供の時分はたいへんな臆病でね、おまじないだといってホトケ様のご飯をよく食べさせられた腹イセなんですよ」となかなかオツな腹イセの人生観を一席

幽霊ばなしの珍談失敗談もいろいろあるが、貞鏡を名乗っていた卅代のころ、高座で熱演のあまり真ッ赤に血をしたたらせた物すごい顔で客席にとび下りたところ、こわがって布団をかぶっていた子供を踏んずけたので「痛い、痛い」と泣きだした、客席も真ッ暗だから、なにがなんだかさっぱり判らぬまま、その子の母親が力いっぱい足を引っぱったので逃げることができない、こっちも悲鳴をあげたが幽霊がアシをだしたというわけで大笑いになった、また旅先でドロドロッと雰囲気をだすのに使う煙幕の材料が切れたので、夜店の花火を買ってきて使ったら、初めはよかったが最後にシューッ、パンで顔にぶつかって幽霊が火傷をして泣きだしちゃった…などなど、描写が真に迫っているから思わず釣りこまれてしまう

「【自】分で使う道具は一切自分でつくっています、凄味をだそうと技巧を凝らしたものは却って駄目なもので、職人さんのつくったものは恐くないから面白いですね、お岩さんの歯なんかでもタバコの箱を破って利用したほうが自然に見えたりしますよ」といいながらセッセと手を動かしている、傍でことし八十五歳だが、耳も目も足も達者だという元気な母親と愛妻がニッコリ、一粒種の坊やは学校で、いまごろ給食のパンでもたべている時分だ

ばと笛

▽…神田小伯山が二代目山陽を襲名して、その披露会が去る廿日赤坂の某料理屋で行われた、ところが料理が洋式というので、出席した噺し家の師匠連も普段のあぐらをかいての気易さと違って大恐慌

▽…柳橋、貞丈、円生などの洋服姿はよいとして文楽のモーニングが案外傑作、眼をみはらせたのは正蔵の蝶タイと円蔵の洋服姿、特に円蔵はまだネクタイの結び方もよく知らないとみえて「ネクタイって思うようには結べないもんですなア」と悲鳴をあげていた

【写真は円蔵】